

第4節 学校への支援・参加

4. 地域ぐるみ活動への積極的な参画

P T Aは、以前から、青少年の非行防止、交通安全対策などを地域の関係団体と協力して、または連携組織に積極的に参加して行っている。

最近では、子どもの状況の変化により、いじめ防止、薬物乱用防止などを内容とするものも増えてきている。

きめ細かな対応ができるように子どもや親に対するP T Aによる電話相談事業も行われるようになってきている。

こうした問題対策型の活動のほか、より積極的に子どもの環境を整備していくという活動も行われるようになってきている。

ビデオ・図書・自販機の監視・規制などといったいわゆる環境浄化活動ばかりでなく、最近では、身近な場所に子どもの遊び場を整備したり、戸外での遊び場や名所・旧跡・利用できる施設などをまとめた「ふるさとマップ」を作るなどというものである。

また、従来型の多くの団体が参加する協議会などは、ややもすると単なる情報交換・連絡協議に終わることも少なくない。

参加団体がそれぞれ役割を持って活動が行われ、実効のあがる運営が望まれるが、子どもに関する場合は、その主力となるのはどうしてもP T Aとならざるを得ないことから、地域ぐるみでの活動の中でも主導的な役割を果たすことが望まれる。